

## 国内連帯を活用した「セーブ・アンド・グロウ」農業モデル推進事業

### 交流プログラム 2018（案）

2018年8月13日（月）～17日（金）

#### 1. 背景

国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所は農林水産省からの拠出を得て、2013年10月より「国内連帯を活用した「セーブ・アンド・グロウ」農業モデル推進事業」を実施しております。本事業は飢餓や栄養不良の解消に取り組む国内連帯組織(National Alliances)の日本とアフリカ諸国とのパートナーシップを高めることで、開発途上国における農業生産の成長を助け、世界の飢餓をなくし、食料・栄養安全保障を達成することへの貢献を目指しています。

本事業の枠組みにおいて、東京農工大学などの関連団体とともに、ブラジルのアグロフォレストリー技術(SAFTA)<sup>1</sup>をガーナに普及するためのプロジェクトを2014年より実施してきました。本アグロフォレストリープロジェクトでは、ガーナにパイロット実施地を設置し、またブラジル、ガーナ、日本の関係者間の交流なども推進してきました。

これらの活動を踏まえ、FAO駐日連絡事務所は今夏、関係機関のご協力を得て、東京で交流・研修プログラムを実施する予定です。本プログラムは、アフリカと日本の連帯組織や関連機関の交流を促進し、持続可能な農業や生産システムなどに関する学びの機会を提供することを目的とします。

#### 2. プログラム概要（案）

12日（日）到着

13日（月）

午前：オリエンテーション（於：ホテル、参加者のみ）

午後：公開セミナーの開催（東京）

14日（火）～15日（水）

世界農業遺産（GIAHS）訪問（新潟県佐渡市、トキと共生する佐渡の里山）

16日（木）

世界農業遺産（GIAHS）訪問（静岡県掛川市周辺、静岡の茶草場農法）

17日（金）

---

<sup>1</sup> Sistema Agroflorestal de Tomé-Açu (SAFTA) : ブラジルアマゾン流域において、日系ブラジル人において開発されたトメアスのアグロフォレストリーシステム。その生産性と持続可能性が実証されている。

午前：株式会社明治の工場見学<sup>2</sup>（埼玉県坂戸市）（150分）

午後：東京へ移動、全体の振り返り（於：ホテル）、フリータイム

18日（土）出国

### 3. 参加者予定

ガーナ、ケニアから各4名ずつ、計8人程度を予定

---

<sup>2</sup> <https://www.meiji.co.jp/learned/factory/sakado/>